

地球温暖化防止部会2023年度活動報告

定例会合は毎月第3or4土曜日 13:30~15:30 イルミン(活動センター)

代表 本多進

1. エコライフDAY:

- ・このエコライフDAYは2005年から18年間実施したことになる。
- ・協力していただいた方々: 入間ガス、JAいるま野、生態系入間支部、地球温暖化防止部会員など。
- ・用紙は埼玉県温暖化対策課から支給された用紙をアレンジ
- ・実施は2023年7月~9月、2023年12月~2024年2月の2回、回収方法は直接受付と郵送
- ・参加者は前年度より減少 夏 848名 冬 760名 計 1608名で目標 2000名に達成せず
- ・CO2削減は 夏は 858Kg 冬は 729Kg 計 1587Kg で前年より 13%減少した。

2. 見学会:

(1) 2023年5月31日(水) 宮ヶ瀬ダム(神奈川県愛川町) 一般募集

- ・33名参加、大型バス利用、参加費¥3000 ハガキによる申し込み
- ・当日は台風の影響で悪天候が予想されたが一日曇り空、風はなし、気温20°Cでの絶好の見学日となった。
- ・コース 愛川ソーラーパーク → 宮ヶ瀬ダム → オギノパン
- ・宮ヶ瀬ダム 横浜や川崎から約40Kmという近さにある。
首都圏最大級の重力式コンクリートダム、2001年に
神奈川県のほぼ中央を流れる相模川に注ぐ支流のひとつ、
中津川に完成、神奈川県には欠かせない水源地となっている。
堤高:156m 堤頂長:375m、総貯水量:193,000,000m³
本体着工:1984年10月、運用開始:2001年4月
- ・宮ヶ瀬ダム4つのはたらき
 - ①台風や大雨による洪水を防ぐ(洪水を調節して下流の安全を守る)
 - ②川の環境を正常に保つ(水量を維持して川の環境を守る)
 - ③水道水を貯める。(神奈川県の水ガメとしての役割)
 - ④電気を創る(放流水を利用して水力発電)愛川第1発電所 24,200Kw 愛川第2発電所 1,200Kw



大人気の放流

(2) 2023年10月31日(火) 小水力発電&リニア新幹線見学会(山梨県都留市) 一般募集

- ・43名参加、大型バス利用、参加費¥3500 ハガキによる申し込み定員オーバーのため抽選
- ・コース 都留市小水力発電 → 道の駅つる(昼食) → リニアセンター (見学)
- ・小水力発電は都留市市役所の敷地内やすぐ側にある。
元気くん1号 下掛け式水車 発電出力 23kW 水車直径 6m
元気くん2号 開放型上掛け水車 水車直径 3m 発電出力 19kW
元気くん3号 開放型らせん式水車 水車全長 6.5m 発電出力 7.3kW
発電した電力は市役所で使用し休日や夜間など電力が余れば
電力会社に売電する。
- ・小水力発電は大規模なダム建設を必要とせず、小規模な農業用水
などを利用して発電でき、生態系に影響しない特徴があり日本では
まだまだ普及できる可能性が高い。日本のポテンシャルは世界第5位
- ・リニアセンターではリニアジオラマや浮上走行が模擬体験をできる
ミニリニアなどさまざまな展示物があった。疾走するリニア新幹線の
500km 走行試験を数回見ることが出来た。その速さに驚いた人が
多かった



元気くん1号



時速 500Km で疾走するリニア新幹線

以上

3. 第12回いるま環境フェア:2024年3月3日、会場はイルミン活動室1

- ・エコライフDAYを参観者70名に投票して頂いた。